

平成 30 年の交通事故統計

# 交通安全は 家庭から



旭川市交通安全運動推進委員会

## はじめに

市民の皆様や、交通安全指導員をはじめ交通事故防止に関わる関係機関・団体の皆様には、平素から交通事故防止活動に深い御理解と、御尽力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

さて、平成30年中における旭川市の交通事故発生状況であります。

発生件数	728件	(前年比	+45件)
死者数	7名	(前年比	+2名)
傷者数	856名	(前年比	+39名)

で、交通事故防止に携わる関係機関・団体・市民の皆様方の献身的な努力にも関わらず、前年とは一転、発生件数、死者数、傷者数とも増加という結果でありました。

とりわけ死者数は前年比2人増の7人で、うち5人(71.4%)が65歳以上の高齢者であり、高齢社会の実態が反映された形となりました。

そのうちの2件は、まさに高齢運転者が高齢歩行者をはねるという極めて痛ましく残念な事故でありました。

近年は、全国的に交通事故死者数における高齢者の割合が高い傾向にあり、さらに進展する高齢社会の中で高齢者が関わる重大事故の減少を図るうえにおいては、真に実効性の高い事故防止対策の推進が重要であるといわれております。

旭川市内の交通事故発生実態をみますと、例年同様死傷事故の約6割が交差点及びその付近において発生しており、その中で自転車・歩行者被害事故では被害者側にも、交差点における一時不停止や道路への飛び出し、走行車両の直前直後の横断などルール無視、マナー違反が多くみられます。

このような実態から、昨年同様交差点安全対策の強化が交通事故抑止を図る上において極めて重要であります。

当交通安全運動推進委員会といたしましては、関係各位とより一層連携を強化し、高齢者に対する参加・体験・実践型の交通安全教育や、交差点におけるパトライト作戦など「見せる警戒活動」の強化を図ると共に、交通安全教室などの機会を捉え交通事故の撲滅に向け、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、啓蒙・啓発活動を推進して参りたいと考えております。

本資料は、北海道警察旭川方面本部及び旭川中央警察署・旭川東警察署や上川総合振興局の御協力をいただき、関係資料を基に平成30年中に旭川市内で発生した交通事故の状況を分析しまとめたものです。交通事故防止活動の推進に際し、参考にしていただければ幸いと存じます。

平成31年3月

旭川市交通安全運動推進委員会  
会長 西川将人

# 目次

## I 交通事故の概要【P 3】

- 1 旭川市・全道・全国の交通事故発生状況 【P 3】
  - (1) 旭川市 (2) 全道 (3) 全国
- 2 旭川市における交通事故発生状況 【P 4～5】
  - (1) 月別 (2) 曜日別 (3) 時間帯別 (4) 路線別

## II 交通事故の分析【P 6】

- 1 類型別交通事故発生状況 【P 6】
- 2 道路形状別交通事故発生状況 【P 7】
- 3 信号機有無別交通事故発生状況 【P 7】
- 4 シートベルト・ヘルメット着用状況 【P 8】
- 5 年齢層別・状態別死傷者数 【P 8～10】
  - (1) 全年齢層 (2) こどもの状況 (3) 高齢者の状況 (4) 若年者の状況
- 6 第一当事者の交通事故発生状況 【P 11～13】
  - (1) 状態別 (2) 事故原因別 (3) 年齢層別 (4) 通行目的別
  - (5) 事故車種の免許経過年数別
- 7 歩行者の交通事故発生状況 【P 14～15】
  - (1) 年齢層別発生状況 (2) 歩行者の過失状況
- 8 自転車の交通事故発生状況 【P 15～16】
  - (1) 年齢層別発生状況 (2) 自転車の過失状況
- 9 旭川市の交通死亡事故発生状況 【P 17～18】
  - (1) 月別 (2) 年齢層別 (3) 路線別 (4) 類型別 (5) 道路形状別
  - (6) 曜日別 (7) 時間帯別 (8) 違反別 (9) 地区別
  - (10) 平成30年交通死亡事故発生状況一覧表 【P 19～20】

## III 過去10年間の状況【P21～23】

- 1 月別交通事故発生状況【P21】
- 2 旭川市・全道・全国の交通事故発生状況【P23】
- 3 都道府県別交通事故死者数のワースト順位【P23】

## IV 旭川市の交通事故発生件数・死者数・傷者数一覧【P 24】

## V 交通死亡事故ゼロ達成日数【P 25】

注 数字は単位未満で四捨五入しているため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合や、四捨五入前の数字を用いて計算した結果と表中の数字が一致しない場合もあります。

# I 交通事故の概要

## 1 旭川市・全道・全国の交通事故発生状況

### (1) 旭川市（確定数） （ ▼減少）

	平成30年	平成29年	増 減	増減率 (%)
発生件数	728	683	45	6.6
死者数	7	5	2	40.0
傷者数	856	817	39	4.8

- ・発生件数 1日あたり 1.99件 1時間あたり 0.08件
- ・死者数 1日あたり 0.02人 1時間あたり 0.0008人
- ・傷者数 1日あたり 2.35人 1時間あたり 0.10人
- ・1件あたり死傷者数 1.20人
- \* 傷者数817人中 軽傷793人 重傷63人
- \* 死者数7人の内、高齢者は5人（71.4% 男性2人・女性3人）

#### \* 警察署別内訳

	旭川中央警察署		旭川東警察署		高速道路	
	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年
発生件数	316	332	412	349	0	2
死者数	3	1	4	4	0	
傷者数	364	387	492	428	0	2

### (2) 全 道（確定数）

	平成30年	平成29年	増 減	増減率 (%)
発生件数	9,931	10,815	▼884	▼8.2
死者数	141	148	▼7	▼4.7
傷者数	11,494	12,673	▼1,179	▼9.3

- ・発生件数 1日あたり 27.20件 1時間あたり 1.13件
- ・死者数 1日あたり 0.39人 1時間あたり 0.02人
- ・傷者数 1日あたり 31.49人 1時間あたり 1.31人
- ・1件あたり死傷者数 1.17人

### (3) 全 国（概数） 注 数値は概数です

	平成30年	平成29年	増 減	増減率 (%)
発生件数	430,601	472,165	▼41,564	▼8.8
死者数	3,532	3,694	▼162	▼4.4
傷者数	525,846	580,847	▼55,001	▼9.5

- ・発生件数 1日あたり 1,179.72件 1時間あたり 49.15件
- ・死者数 1日あたり 9.68人 1時間あたり 0.40人
- ・傷者数 1日あたり 1,440.67人 1時間あたり 60.02人
- ・1件あたり死傷者数 1.23人

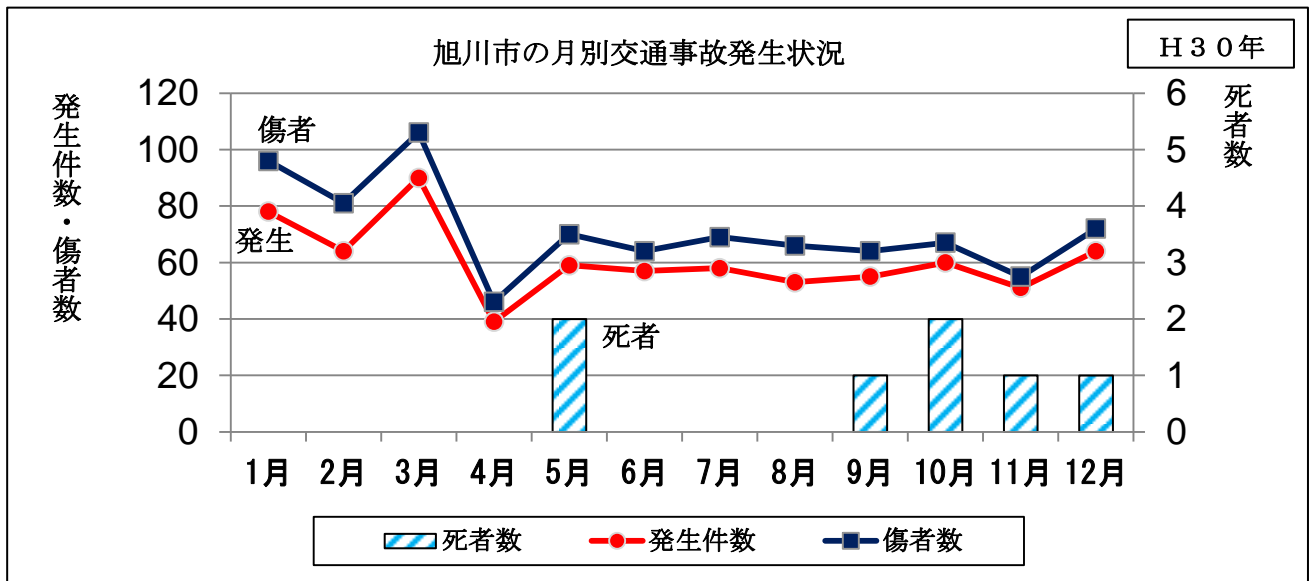
（全国数値は警察庁交通局交通企画課資料に基づいています）

## 2 旭川市における交通事故発生状況

### (1) 月別交通事故発生状況

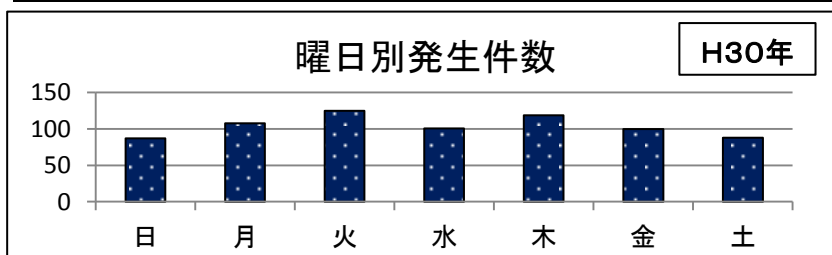
	旭川中央署			旭川東署			高速道路			合計		
	発生件数	死者数	傷者数	発生件数	死者数	傷者数	発生件数	死者数	傷者数	発生件数	死者数	傷者数
1月	34		41	44		55				78		96
2月	23		24	41		57				64		81
3月	41		47	49		59				90		106
4月	18		22	21		24				39		46
5月	23	1	29	36	1	41				59	2	70
6月	20		21	37		43				57		64
7月	32		38	26		31				58		69
8月	26		32	27		34				53		66
9月	22		26	33	1	38				55	1	64
10月	27	1	30	33	1	37				60	2	67
11月	19		19	32	1	36				51	1	55
12月	31	1	35	33		37				64	1	72
計	316	3	364	412	4	492	0	0	0	728	7	856

\* 秋季から交通環境（特に路面状況）が悪化する冬期間にかけて多発している。



### (2) 曜日別交通事故発生状況

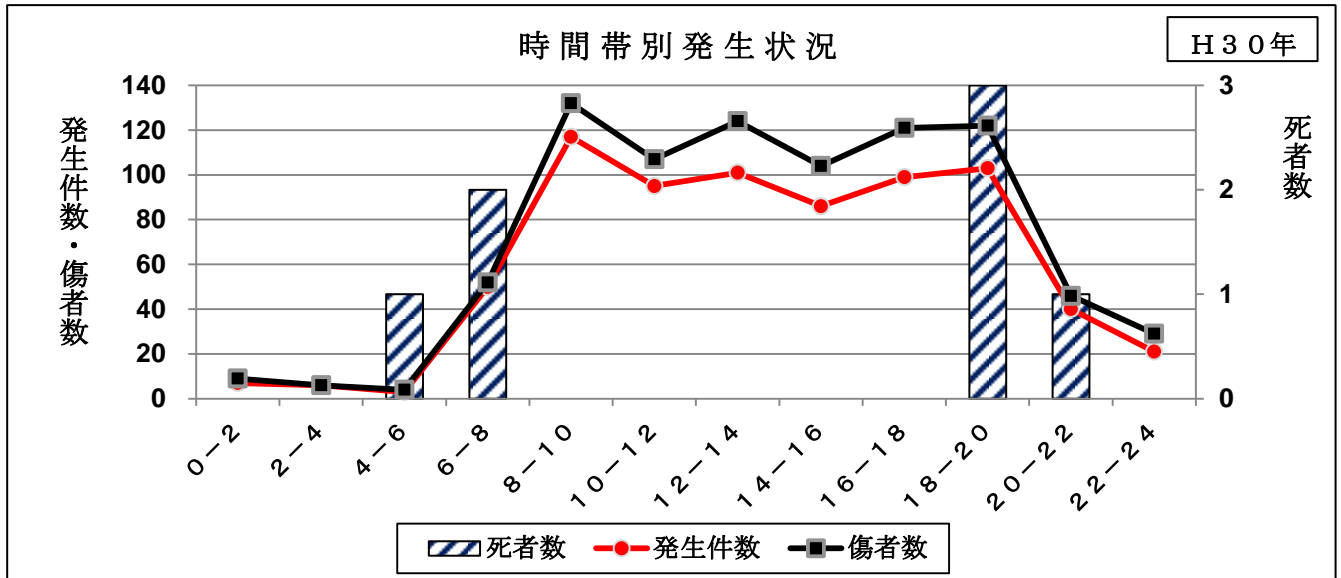
	日	月	火	水	木	金	土	計
発生件数	87	108	125	101	119	100	88	728
死者数	1	1		1	4			7
傷者数	113	115	144	112	140	121	111	856



(3) 時間帯別交通事故発生状況

	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	計
発生件数	7	6	3	50	117	95	101	86	99	103	40	21	728
死者数			1	2						3	1		7
傷者数	9	6	4	52	132	107	124	104	121	122	46	29	856

\* 発生時間帯については、ばらつきが見受けられるが、死亡事故については、早朝と夕暮れ時から夜間にかけての発生が多い。



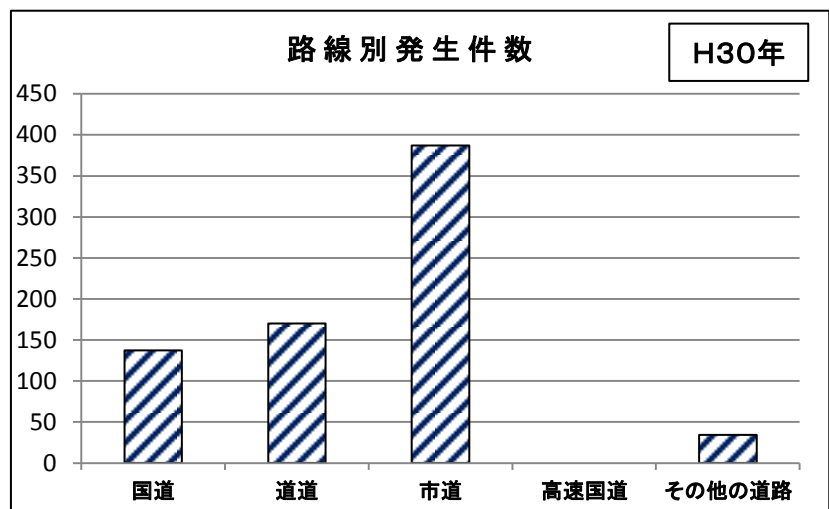
(4) 路線別交通事故発生状況

	国道	道道	市道	高速	指定自専道	他自専道	その他道路	合計
発生件数	137	170	387				34	728
死者数	4	1	2					7
傷者数	169	199	452				36	856

\* 発生の約半数（全体の53.2%）が市道で、死者は7人中4人（約57%）が国道である。



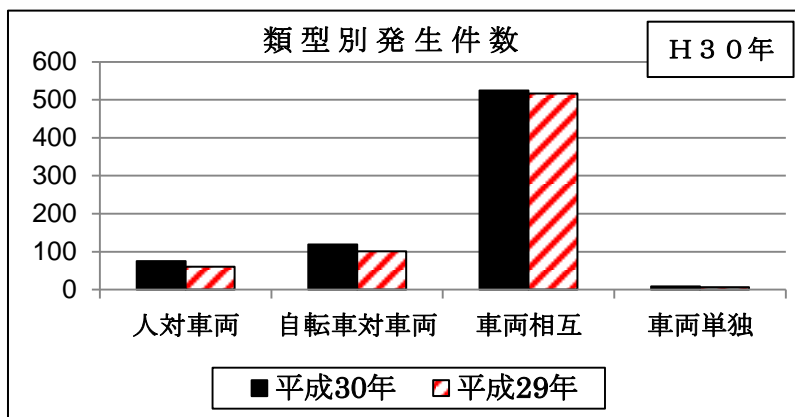
チャイルドシート  
ちいさなVIPの  
指定席



## II 交通事故の分析

### 1 類型別交通事故発生状況

		平成30年			平成29年			
		発生件数	死者数	傷者数	発生件数	死者数	傷者数	
人対車両	対面通行中	2		2				
	背面通行中	2		2				
	横断中	横断歩道	15		16	20		21
		横断歩道付近	4	1	4			
		歩道橋付近						
		その他	20	3	17	15	1	14
	計	39	4	37	35	1	35	
	路上遊戯中	1		1				
	路上作業中	2		2	2		2	
	路上停止中	3		3	2		2	
	その他	26		29	21		21	
小計	75	4	76	60	1	60		
自転車対車両		119	1	118	101		102	
車両相互	正面衝突	27	1	41	28	1	36	
	追突	進行中	18		22	23		28
		その他	169		204	159		216
	出会い頭	185		241	189		237	
	追い越し追い抜き時	18		23	13		13	
	すれ違い時	9		10	4		4	
	左折時	7		7	6		9	
	右折	右折直進	30		35	32	1	37
		その他	10		11	7		9
	その他	52		57	55	1	61	
小計	525	1	651	516	3	650		
車両単独	工作物衝突	電柱	2		2	1		1
		標識						
		防護柵等				1	1	
		その他	4	1	6	3		3
	駐車車両衝突				1		1	
路外逸脱								
その他	3		3					
小計	9	1	11	6	1	5		
踏切								
合計		728	7	856	683	5	817	



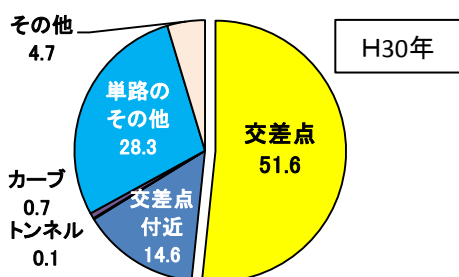
#### 発生件数の増減率

人対車両	25.0%
自転車対車両	17.8%
車両相互	1.7%
車両単独	50.0%

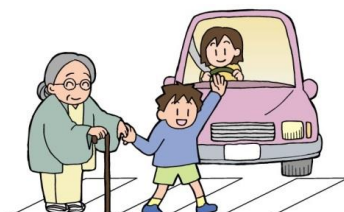


## 2 道路形状別交通事故発生状況

		発生件数		構成比%		死者数		構成比%		傷者数		構成比%		
		30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	
市街地	交差点	交差点	353	318	48.5	46.6	4	2	57.1	40.0	411	379	48.0	46.4
		交差点付近	99	100	13.6	14.6	1		14.3		116	127	13.6	15.5
		計	452	418	62.1	61.2	5	2	71.4	40.0	527	506	61.6	61.9
	単路	トンネル		3		0.4						3		0.4
		カーブ	4	6	0.5	0.9					4	6	0.5	0.7
		その他	187	176	25.7	25.8					227	216	26.5	26.4
	その他	32	32	4.4	4.7					34	35	4.0	4.3	
小計	675	635	92.7	93.0	5	2	71.4	40.0	792	766	92.5	93.8		
非市街地	交差点	交差点	23	13	3.2	1.9					24	15	2.8	1.8
		交差点付近	7	5	1.0	0.7					7	5	0.8	0.6
		計	30	18	4.1	2.6					31	20	3.6	2.4
	単路	トンネル	1	6	0.1	0.9					1	6	0.1	0.7
		カーブ	1	4	0.1	0.6					1	4	0.1	0.5
		その他	19	17	2.6	2.5	2	3	28.6	60.0	29	18	3.4	2.2
	その他	2	3	0.3	0.4					2	3	0.2	0.4	
小計	53	48	7.3	7.0	2	3	28.6	60.0	64	51	7.5	6.2		
合計	728	683	100.0	100.0	7	5	100.0	100.0	856	817	100.0	100.0		



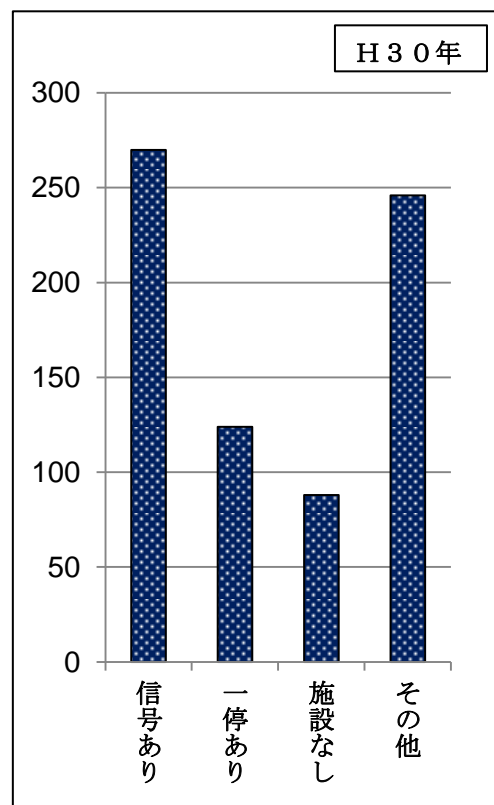
\* 市街地・非市街地ともに交差点及びその付近での発生が多く、全体の66.2%を占めている。



小さな手  
上げたら  
大きな赤信号

## 3 信号機有無別発生状況

		発生件数		死者数		傷者数		
		30年	29年	30年	29年	30年	29年	
市街地	交差点	信号あり	182	162	1	1	212	193
		一停あり	105	111			125	134
		施設なし	66	45	3	1	74	52
	交差点付近	信号あり	75	85			90	110
		一停あり	8	1			9	1
		施設なし	16	14	1		17	16
	その他	223	217			265	260	
小計	675	635	5	2	792	766		
非市街地	交差点	信号あり	8	1			9	1
		一停あり	11	8			11	10
		施設なし	4	4			4	4
	交差点付近	信号あり	5	5			5	5
		一停あり						
		施設なし	2				2	
	その他	23	30	2	3	33	31	
小計	53	48	2	3	64	51		
合計	728	683	7	5	856	817		





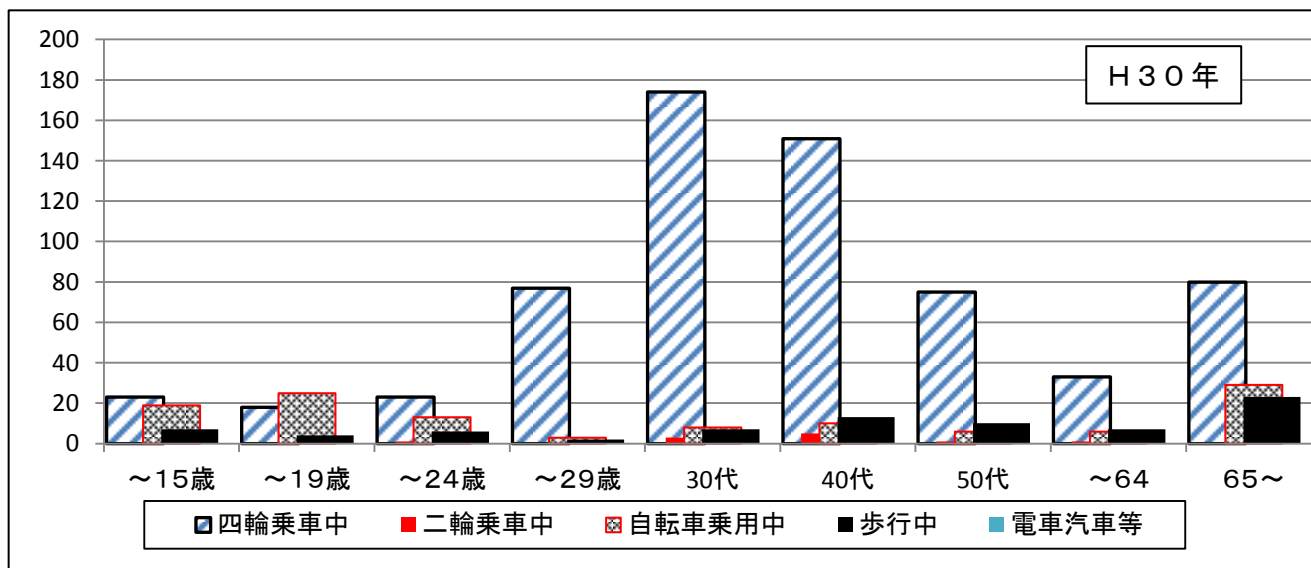
#### 4 シートベルト・ヘルメット着用状況

		死者数		重傷者数		軽傷者数			
		30年	29年	30年	29年	30年	29年		
シートベルト	着用	2点3点式		1	2	22	20	577	583
	着用	チャイルドシート						9	6
		6歳未満						8	6
	非着用	適用除外者						1	1
		その他		1	1	3	3	40	33
	着用不明			1					
合計		2	4	25	23	627	623		
ヘルメット	着用	離脱							
	着用	離脱なし				4	3	10	10
		離脱不明							
		非着用				22	10	93	84
	着用不明								
合計				26	13	103	94		

#### 5 年齢層別状態別死傷者数

##### (1) 全年齢層の状況

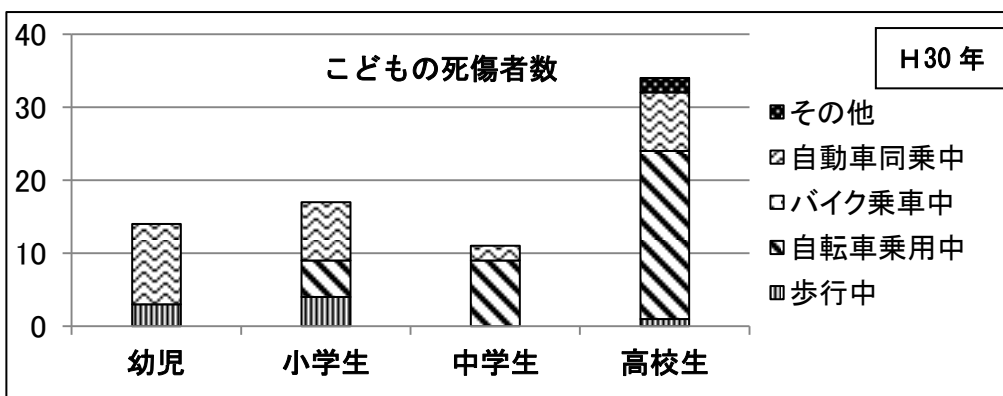
	平成 30 年						平成 29 年					
	四輪乗車中	二輪乗車中	自転車乗用中	歩行中	電車自動車等	計	四輪乗車中	二輪乗車中	自転車乗用中	歩行中	電車自動車等	計
～15	23		19	7		49	17		18	5		40
～19	18		25	4		47	18		22	3	1	44
～24	23	1	13	6		43	50	1	5	7		63
～29	77		3	2		82	69	1	2	1		73
30代	174	3	8	7		192	142		8	7		157
40代	151	5	10	13		179	157	2	8	9		176
50代	75	1	6	10		92	69		5	7		81
～64	33	1	6	7		47	38		5	6		49
65～	80		29	23		132	90	1	29	18	1	139
合計	654	11	119	79		863	650	5	102	63	2	822



(2) こどもの状況

		幼 児		小学生		中学生		高校生		計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
平成 30 年	歩行中		3		4				1		8
	自転車乗用中				5		9		2	3	7
	バイク乗車中										
	自動車同乗中		1	1	8		2		8		9
	その他										
	計		1	4	1	7	1	1	3	2	7
平成 29 年	歩行中		1		4						5
	自転車乗用中		1		7		8		2	0	6
	バイク乗車中										
	自動車同乗中		6		7		1		1	1	5
	その他								1		1
	計		8		1	8		9		3	2

\* 傷者の半数 (50.0%) が自転車乗用中である。



自転車と  
いつも一緒  
ヘルメッ  
ト

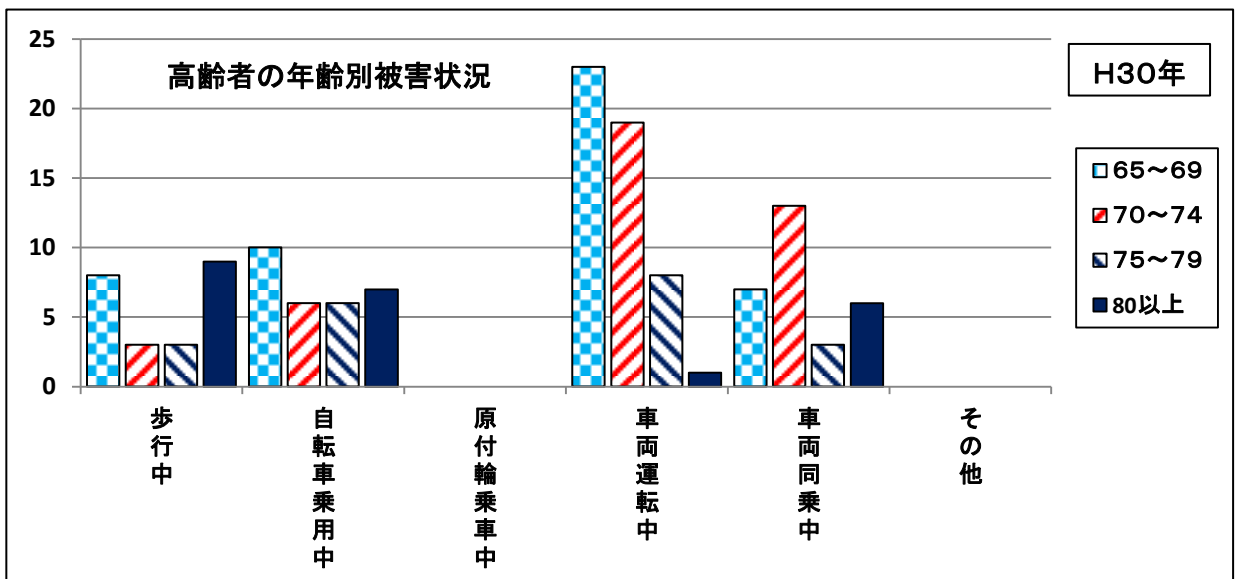
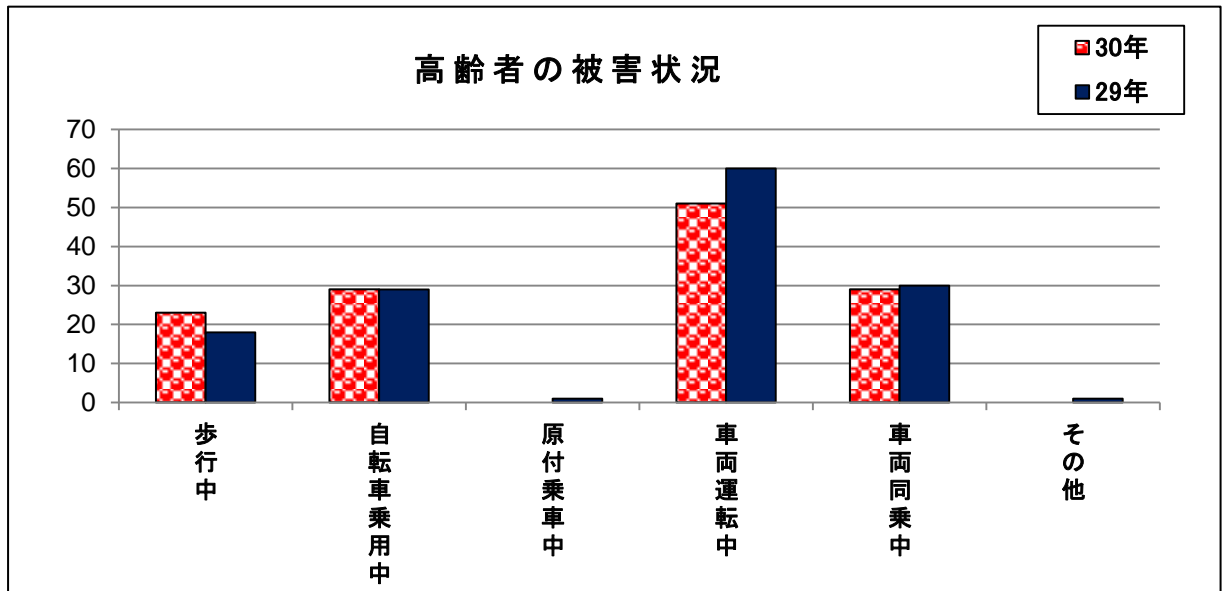


(3) 高齢者の状況

\* 交通事故死者数7名中、5名(71.4%)が高齢者である。

\* 車両運転中の死傷者は僅かに減少したが、歩行中の死者が3名増加した。

		65～69歳		70～74歳		75～79歳		80歳以上		計		死傷者 構成率(%)			
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者				
平成 30 年	歩行中		8	3	2	1	2	2	7	4	1	9	17.4		
	自転車乗用中		1	0	6		6		7		2	9	22.0		
	原付・2輪乗車中														
	原付・2輪同乗中														
	車両運転中		2	3	1	1	8		8		1	5	0	38.6	
	車両同乗中		7		1	3		3		6		2	9	22.0	
	その他														
	計		4	8	1	4	0	2	1	8	2	2	1	0	
平成 29 年	歩行中		4		3		4	1	6		1	1	7	12.9	
	自転車乗用中		1	2		7		7		3		2	9	20.9	
	原付・2輪乗車中						1					1	0.7		
	原付・2輪同乗中														
	車両運転中		1	2	7	1	1	8		6		2	5	8	43.2
	車両同乗中		1	0		3		7		1	0	3	0	21.6	
	その他									1		1	0.7		
	計		1	5	3	1	3	1	2	7	3	1	3	6	



(4) 若年者の状況 (16歳~24歳)

	平成30年		平成29年	
	死者数	傷者数	死者数	傷者数
乗用車運転中		22		51
乗用車同乗中		13		15
貨物車運転中		2		2
貨物車同乗中	1	3		
自動二輪車運転中		1		1
自動二輪車同乗中				
原付車運転中				
原付車同乗中				
自転車乗用中		38		27
歩行中		10		10
その他				1
計	1	89		107



- \* 若年者の死傷者数は年々減少傾向にあり、本年も前年比で17名(約16%)減少した。
- \* 死者は、前年比で1名の増加であった。

27年	86名
28年	112名
29年	107名
30年	90名

## 6 第一当事者の交通事故発生状況

### (1) 状態別

	平成30年		平成29年	
	発生件数	構成率%	発生件数	構成率%
自家用自動車	653	89.7	620	90.8
運送事業用自動車	50	6.9	44	6.4
二輪車				
自転車・歩行者	9	1.2	7	1.0
特殊車	1	0.1	1	0.1
その他(不明)	15	2.1	11	1.6
計	728	100.0	683	100.0

急がない  
青しんごうでも  
左右見て

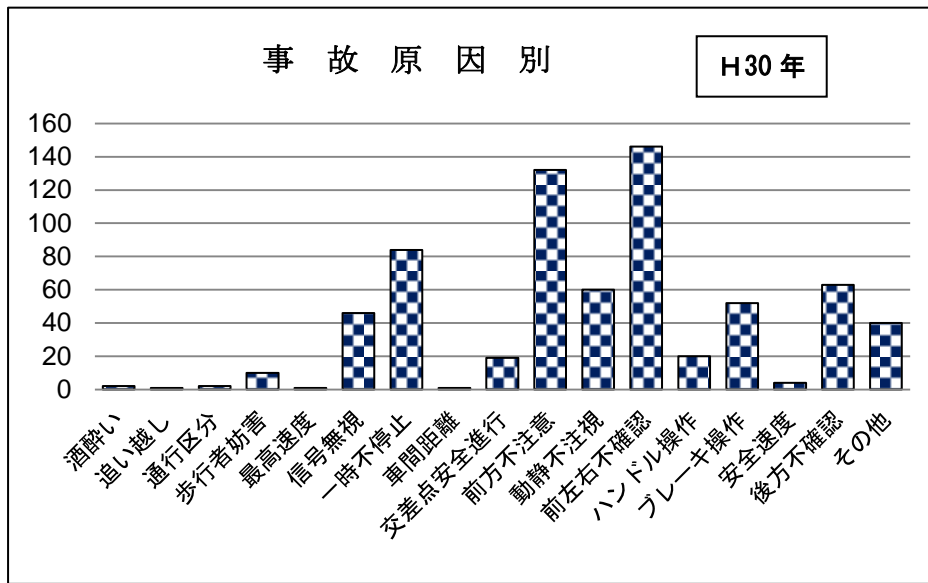


\* 昨年と同じく、自家用自動車による事故が大半を占めている。

### (2) 事故原因別

	発生件数		構成比%		死者数		構成比%		傷者数		構成比%		
	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	
酒酔い運転	2	2	0.3	0.3					3	2	0.4	0.2	
追越し運転	2	1	0.3	0.1					4	1	0.5	0.1	
通行区分違反	7	2	1.0	0.3	1		14.3		6	2	0.7	0.2	
歩行者妨害	10	10	1.4	1.5					10	11	1.2	1.3	
最高速度違反	1	1	0.1	0.1	1	1	14.3	20.0	2		0.2		
過労運転													
信号無視	45	46	6.2	6.7					63	56	7.4	6.9	
一時不停止	57	84	7.8	12.3					69	96	8.1	11.8	
車間距離		1		0.1						1		0.1	
踏切													
交差点安全通行	55	19	7.6	2.8	4		57.1		58	21	6.8	2.6	
交差点徐行	1	4	0.1	0.6					1	5	0.1	0.6	
右折	3	2	0.4	0.3					3	2	0.4	0.2	
左折	1	1	0.1	0.1					1	1	0.1	0.1	
整備不良													
安全運転義務違反	前方不注意	112	132	15.4	19.3	1	1	14.3	20.0	136	169	15.9	20.7
	動静不注視	59	60	8.1	8.8					65	80	7.6	9.8
	前左右不確認	166	146	22.8	21.4					189	170	22.1	20.8
	ハンドル操作	29	20	4.0	2.9		1		20.0	38	25	4.4	3.1
	ブレーキ操作	77	52	10.6	7.6					90	65	10.5	8.0
	安全速度	2	4	0.3	0.6					3	5	0.4	0.6
	後方不確認	50	63	6.9	9.2					56	71	6.5	8.7
	その他	20	5	2.7	0.7		1		20.0	25	4	2.9	0.5
小計	515	482	70.7	70.6	1	3	14.3	60.0	602	589	70.3	72.1	
その他の違反	14	17	1.9	2.5		1		20.0	19	19	2.2	2.3	
不明	15	11	2.1	1.6					15	11	1.8	1.3	
歩行者の違反													
合計	728	683	100.0	100.0	7	5	100.0	100.0	856	817	100.0	100.0	
酒気帯 (内数)	0.25未満		2	0.3	0.3						2	0.2	
	0.25以上	10	7	1.4	1.0		1		20.0	15	7	1.8	0.9
無免許 (内数)	3	2	0.4	0.3	1		14.3		4	2	0.5	0.2	

\* 「うっかり、ぼんやり型」の安全運転義務違反が全体の約71%で最も多く、次いで一時不停止による事故が多い。



歩行者を

守る気づかい

思いや

### (3) 年齢層別

		発生件数		構成比 %		死者数		構成比 %		傷者数		構成比 %	
		30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年
ドライバー	15歳以下	1		0.1						1		0.1	
	16～19	16	19	2.2	2.8	1	1	14.3	20.0	21	19	2.5	2.3
	20～24	61	68	8.4	10.0	1		14.3		68	84	7.9	10.3
	25～29	52	45	7.1	6.6					61	55	7.1	6.7
	30歳代	95	105	13.0	15.4	1		14.3		126	126	14.7	15.4
	40歳代	111	116	15.2	17.0		2		40.0	126	141	14.7	17.3
	50歳代	90	90	12.4	13.2	1	1	14.3	20.0	103	105	12.0	12.9
	60～64	65	46	8.9	6.7					85	56	9.9	6.9
	65～69	67	55	9.2	8.1		1		20.0	75	65	8.8	8.0
	70～74	65	59	8.9	8.6	2			28.6	73	69	8.5	8.4
	75～79	47	39	6.5	5.7	1			14.3	55	48	6.4	5.9
80歳以上	34	23	4.7	3.4					38	31	4.4	3.8	
	小計	704	665	96.7	97.4	7	5	100.0	100.0	832	799	97.2	97.8
その他	歩行者												
	自転車	9	7	1.2	1.0					9	7	1.1	0.9
	その他不明	15	11	2.1	1.6					15	11	1.8	1.3
	合計	728	683	100.0	100.0	7	5	100.0	100.0	856	817	100.0	100.0

\* 発生件数では、高齢者運転者層と25～29歳代で増加したが、その他の年齢層では減少した。

\* 死者数については、70代の高齢運転者が加害者となる事故が3件、若年運転者が加害者となる事故が2件発生した。

## ハイビーム

上手に使って

事故防止

ロービーム (照射距離約40m)

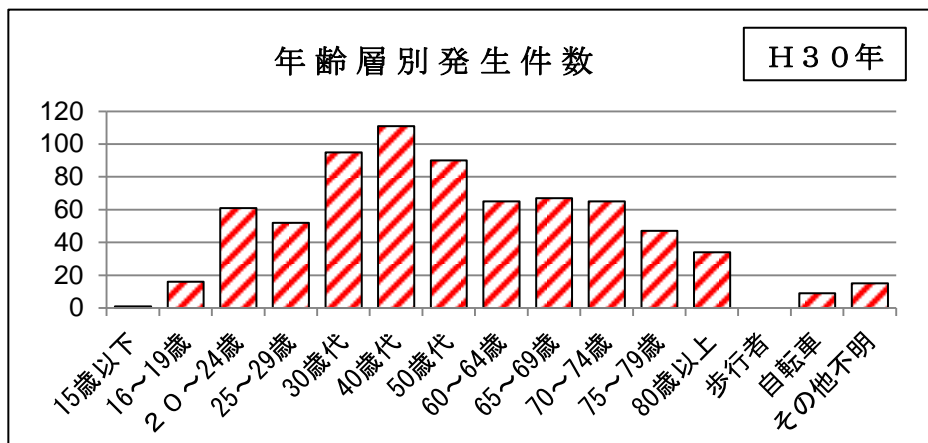
ハイビーム (照射距離約100m)

こ～んなに差があるんだ!

【H30年警察庁長官賞】

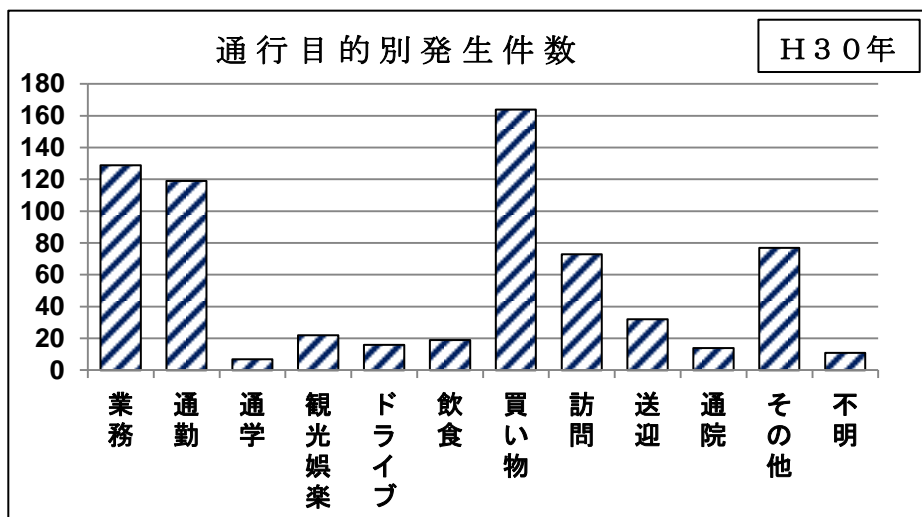


見えてると  
思うなあぶない  
夜の道



#### (4) 通行目的別

	業務	通勤	通学	観光 娯楽	ドライ ブ	飲食	買物	訪問	送迎	通院	その他	不明	合計
発生	136	149	5	31	14	12	218	54	29	19	46	15	728
死者数	2	2		1					1		1		7
傷者数	153	172	5	43	17	18	258	68	34	20	53	15	856



ちゅういして

くるまがくるかも

まがいかと

#### (5) 事故車種の免許経過年数別

	発生件数		構成比 %		死者数		傷者数		
	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	
有効免許あり	1年未満	20	25	2.7	3.7	1	1	23	30
	1年以上2年未満	18	23	2.5	3.4			18	26
	2年以上3年未満	16	19	2.2	2.8			17	23
	3年以上4年未満	10	16	1.4	2.3			15	18
	4年以上5年未満	26	21	3.6	3.1		1	29	30
	5年以上10年未満	63	42	8.7	6.1			75	53
	10年以上	548	517	75.3	75.7	5	3	651	617
小計	701	663	96.3	97.1	6	5	828	797	
無免許等	3	2	0.4	0.3	1		4	2	
調査不能									
ドライバー以外	歩行者								
	自転車	9	7	1.2	1.0			9	7
	その他	15	11	2.1	1.6			15	11
計	728	683	100.0	100.0	7	5	856	817	

\* 10年以上の運転経験者による事故が約75%を占めている。

## 7 歩行者の交通事故発生状況

### (1) 年齢層別発生状況

	死者数		傷者数		計		構成比 %		
	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	
20歳未満			11	8	11	8	13.9	12.7	
(内数)	幼児		3	1	3	1	3.8	1.6	
	小学生		4	4	4	4	5.1	6.3	
	中学生								
	高校生			1		1	1.3		
20歳代			8	8	8	8	10.1	12.7	
30歳代			7	7	7	7	8.9	11.1	
40歳代			13	9	13	9	16.5	14.3	
50歳代			10	7	10	7	12.7	11.1	
60～64歳			7	6	7	6	8.9	9.5	
高齢者	65～69歳		8	4	8	4	10.1	6.3	
	70～74歳			3	3	3	3.8	4.8	
	75～79歳	2		1	4	3	4	3.8	6.3
	80歳以上	2	1	7	6	9	7	11.4	11.1
	小計	4	1	19	17	23	18	29.1	28.6
計	4	1	75	62	79	63	100.0	100.0	



とび出さない  
いったんとまっ  
て

\* 歩行者事故の死者数は、前年比3人、傷者数では13人増加した。

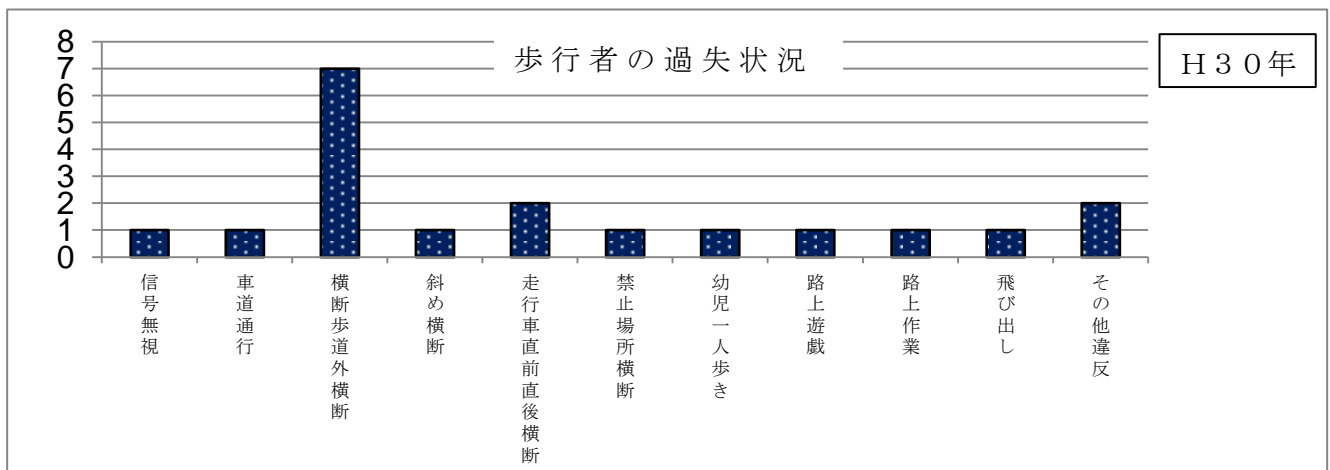
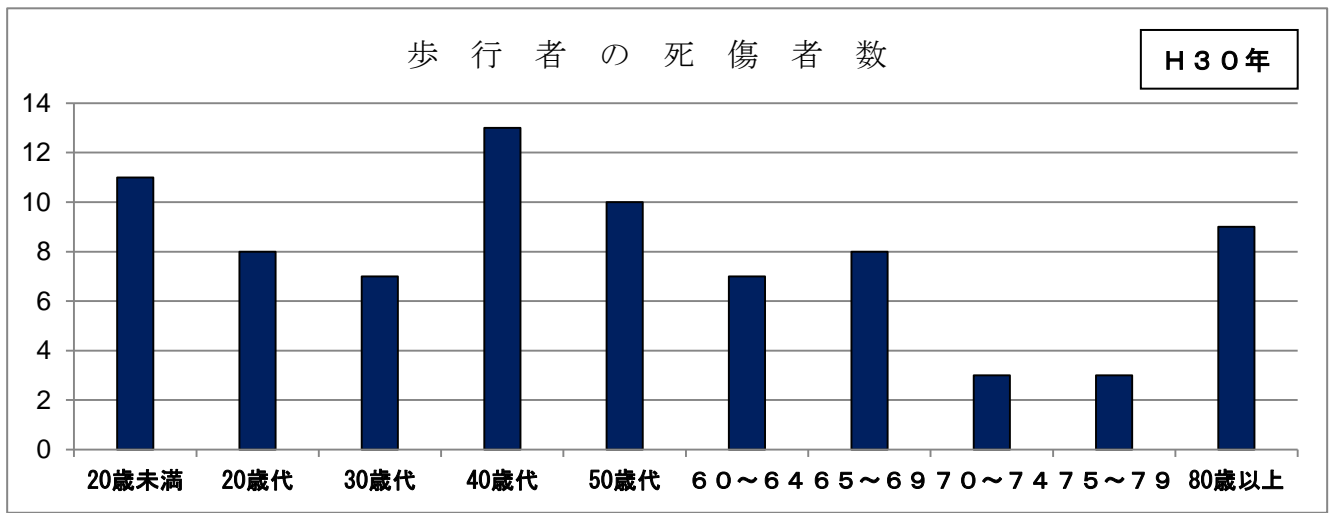
\* 高齢者が占める死傷者の割合は29.1%となり、前年比で0.5ポイント増加した。

(H26年 35.6% H27年 42.9% H28年 38.6% H29年 28.6% H30年 29.1%)

### (2) 歩行者の過失状況

	中学生以下		高齢者		その他		計		構成比 %	
	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年
信号無視					1		1		1.3	
左側通行						1		1		1.6
車道通行					1		1		1.3	
行列等の通行違反										
横断歩道外の横断			6	2	1	2	7	4	8.9	6.3
斜め横断					2	2	2	2	2.5	3.2
駐停車直前直後の横断										
走行車直前直後の横断			1		1		2		2.5	
禁止場所の横断			1				1		1.3	
幼児の一人歩き	1						1		1.3	
酩酊徘徊ねそべり										
路上遊戯中	1						1		1.3	
路上作業中										
飛び出し	1	2				3	1	5	1.3	7.9
その他の違反					2		2		2.5	
過失なし	4	3	15	13	41	35	60	51	75.9	81.0
計	7	5	23	18	49	40	79	63	100.0	100.0

\* 全体の約2割強に歩行者側にも横断歩道外横断、飛び出し、走行車直前直後の横断などの過失がある。



## 8 自転車の交通事故発生状況

### (1) 年齢層別発生状況

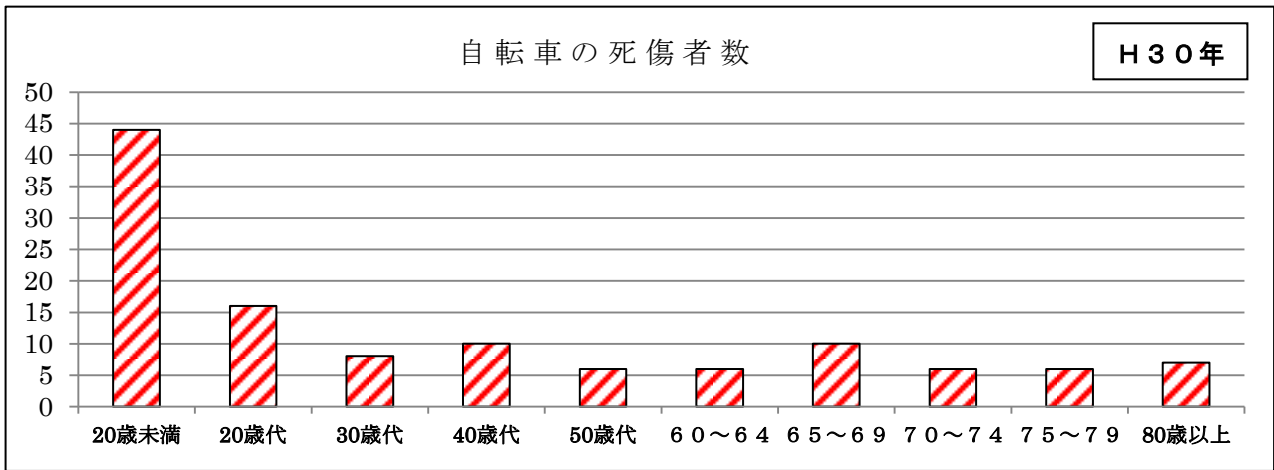
	死者数		傷者数		計		構成比 %	
	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年
20歳未満			44	40	44	40	37.0	39.2
(内数)	幼児			1		1		1.0
	小学生		5	7	5	7	4.2	6.9
	中学生		9	8	9	8	7.6	7.8
	高校生			23	20	23	20	19.3
20歳代			16	7	16	7	13.4	6.9
30歳代			8	8	8	8	6.7	7.8
40歳代			10	8	10	8	8.4	7.8
50歳代			6	5	6	5	5.0	4.9
60～64	1		5	5	6	5	5.0	4.9
高齢者	65～69		10	12	10	12	8.4	11.8
	70～74		6	7	6	7	5.0	6.9
	75～79		6	7	6	7	5.0	6.9
	80歳以上		7	3	7	3	5.9	2.9
	小計			29	29	29	29	24.4
計	1		118	102	119	102	100.0	100.0



**自転車の  
すりぬけ運転  
事故の元**

\* 傷者の約4割は、20歳未満の若年者であり、20歳代では前年比9人(128.6%)の増加であり、若年層での事故が多い。





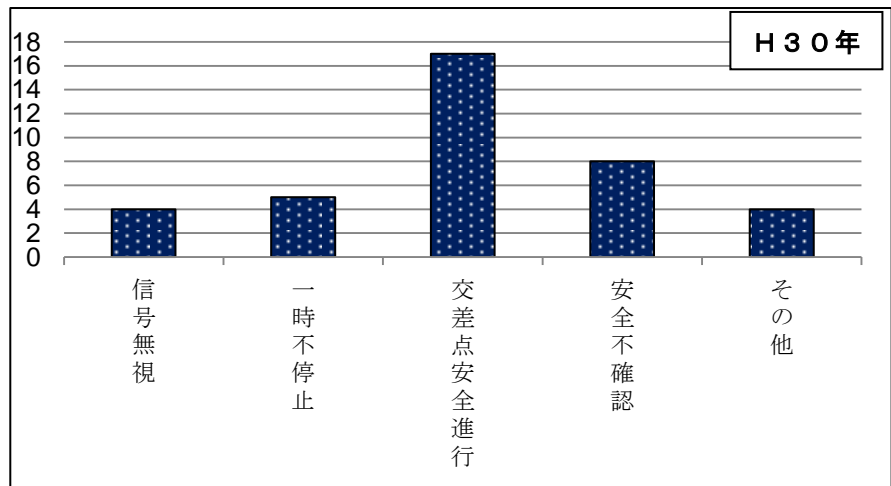
(2) 自転車の過失状況

	中学生以下		高齢者		その他		計		構成比 %	
	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年
信号無視			1		3	1	4	1	3.4	1.0
通行禁止違反										
通行区分違反										
車両・通行帯違反										
横断・転回等違反										
通行妨害違反										
右折方法違反										
左折方法違反										
交差点安全進行義務違反	2		3		12		17		14.3	
一時不停止	1	2	1	1	3	3	5	6	4.2	5.9
灯火違反										
安全不確認	1	2	1	8	6	7	8	17	6.7	16.7
乗車不適當										
通行方法違反				1				1		1.0
その他			1	4	3	3	4	7	3.4	6.9
違反なし	10	12	22	15	49	43	81	70	68.1	68.6
計	14	16	29	29	76	57	119	102	100.0	100.0

\* 「過失あり」が38件で31.9%を占め、その約半数以上が交差点安全進行義務違反である。



危険だよ  
スマホに夢中の  
その君



## 9 旭川市の交通死亡事故発生状況

### (1) 月別

( ▼減少)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成30年					2				1	2	1	1	7
平成29年				1			1		1		2		5
増減				▼1	2		▼1			2	▼1	1	2

### (2) 年齢層別

	幼児	小	中	高	15以下	16-19	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	計
平成30年						1					1	5	7
平成29年									2		1	2	5
増減						1			▼2			3	2

### (3) 路線別

	国道12号	国道39号	国道40号	国道237号	他の国道	道道	市道	その他	計
平成30年	3			1		1	2		7
平成29年			1			3	1		5
増減	3		▼1	1		▼2	1		2

### (4) 類型別

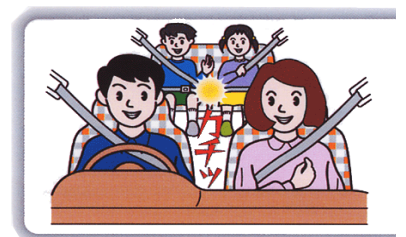
	歩行者 対 車両	自転車 対 車両	車両相互					車両 単 独	計
			正面衝突	追突	出会頭	その他	小計		
平成30年	4	1	1				1	1	7
平成29年	1		1			2	3	1	5
増減	3	1				▼2	▼2		2

### (5) 道路形状別

	交差点	交差点付近	直線道路	トンネル	カーブ屈折	その他	計
平成30年	4	1	2				7
平成29年	2		3				5
増減	2	1	▼1				2

### (6) 曜日別

	日	月	火	水	木	金	土	計
平成30年	1	1		1	4			7
平成29年		2	1		1	1		5
増減	1	▼1	▼1	1	3	▼1		2



全員の ベルトのカチャリが ゴーサ

(7) 時間帯別

	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	計
平成30年			1	2						3	1		7
平成29年		1	1						2	1			5
増減		▼1		2					▼2	2	1		2

(8) 違反別

違反項目	死者数		
	30年	29年	
酒酔い			
追越し			
通行区分	1		
歩行者妨害			
最高速度	1	1	
過労運転			
信号無視			
一時不停止			
車間距離			
踏切			
交差点安全通行	4		
交差点徐行			
右折			
左折			
整備不良			
安全運転義務違反	前方不注意	1	1
	動静不注意		
	前左右不確認		
	ハンドル操作		1
	ブレーキ操作		
	安全速度		
	後方不注意		
	その他		1
小計		3	
その他の違反		1	
不明			
自転車の通行方法			
歩行者の違反			
合計	7	5	



大丈夫？ 昨日のお酒も 気を付けて

(9) 地区別

・旭川中央署区域

地区名	死者数	
	30年	29年
西	1	
中央		
大成		
近文東		
近文西		
川端		
旭星		
旭星西		
北星		
春光西		
春光中央		
春光東		
春光台		
鷹の巣福祉村		
末広中央		
末広		
末広東		
東鷹栖中央		
東鷹栖東		1
東鷹栖西		
東鷹栖北		
江丹別		
嵐山		
神居中央		
神居東		
台場	1	
神居雨紛		
西神居		
忠和	1	
市民委員会構成外		
計	3	1

合計	30年	29年
	7	5

・旭川東署区域

地区名	死者数	
	30年	29年
新旭川	1	
朝日		
啓明		
旭神		1
東光	1	
東光南		
豊岡		
愛宕	1	
東豊中央		1
新豊岡		
東部東光		
千代田		
旭正		
東旭川中央		
日の出・倉沼		1
豊田		
桜岡		
米飯・瑞穂		
神楽本町		
神楽宮前		
高野		
神楽岡		
神楽岡東		
緑が丘		
西御料地	1	
緑が丘東		
西神楽瑞穂		
西神楽中央		1
西神楽聖和		
西神楽千代ヶ岡		
永山第一		
永山第二		
永山第三		
永山南		
永山南西		
計	4	4

## (10) 平成30年 交通死亡事故発生状況一覧表

番号	日 時	場 所	路線	事 故 態 様	死 亡
事 故 状 況					
1	5月10日(木) 4:50ころ	忠和7条2丁目 忠和地区市民委員会	国道	普通貨物単独(掲示板支柱に衝突) 当事者 滝川市 少年A(16) 同乗者 滝川市 (助手席) 少年B(17) (後部席) 少年C(16) 少年D(16)	少年B (17歳)
<p>10日午前4時50分ころ、旭川市忠和7条2丁目の国道で、ライトバンが道路脇の電光掲示板の支柱に衝突、乗っていた4人のうち助手席にいた滝川市居住の少年B(17)が全身を強く打ち、搬送先の病院で死亡した。運転手と後部席にいたいずれも16歳の同市の3人も肋骨や足の骨を折るなどのけがを負った。現場は片側2車線の直線道路で、旭川中心部から西に約5キロの地点。当時路面は乾燥しており、ブレーキ痕はなかったという。同署は事故原因を調べるとともに、乗っていた4人の関係や運転の目的についても調べる。</p>					
2	5月30日(水) 19:47ころ	緑が丘南5条1丁目 西御料地地区市民委員会	国道	普通乗用:歩行者(横断中):普通乗用 当事者 美瑛町A(男性39) 旭川市B(女性75) 旭川市C(男性,年齢不詳)	女性B (75歳)
<p>30日午後7時47分ころ、旭川市緑が丘南5の1の国道で、道路を横断していたBさん(75)が、A(39)の運転する乗用車にはねられ、全身を強く打って搬送先の病院で死亡が確認された。旭川東署によると、現場は片側2車線の直線道路。Bさんは自転車を押して横断していた。AがBさんをはねた直後、Cさんの車がAの車に追突。Bさんは押し出されたAの車の下敷きになったという。 同署が事故原因を調べている。</p>					
3	9月27日(木) 20:20ころ	豊岡8条5丁目 愛宕地区市民委員会	市道	普通乗用:歩行者(横断中) 当事者 旭川市A(男性22) 旭川市B(女性83)	女性B (83歳)
<p>27日午後8時20分ころ、旭川市豊岡8の5の市道で、道路を横断していたBさん(83)が乗用車にはねられ、全身を強く打ってまもなく死亡した。 旭川東署は、自動車運転処罰法違反(過失致傷)の疑いで、乗用車を運転していたA容疑者(22)を現行犯逮捕した。 現場は片側1車線の直線道路で、同署が事故原因を調べている。</p>					
4	10月4日(木) 7:40ころ	東8条4丁目 新旭川地区市民委員会	市道	大型トレーラー:自転車(左巻き込み) 当事者 旭川市A(男性51) 旭川市B(男性62)	男性B (62歳)
<p>4日午前7時40分ころ、旭川市東8の4の市道交差点で、自転車に乗っていたBさん(62)が大型トレーラーにひかれ、頭を強く打ち死亡した。 旭川東署は、自動車運転処罰法違反(過失致傷)の疑いで、トレーラーを運転していたA容疑者(51)を現行犯逮捕した。 同署は、トレーラーが左折する際、自転車の男性を巻き込んだとみて調べている。</p>					

番号	日 時	場 所	路線	事 故 態 様	死 亡
5	10月14日(日) 19:20ころ	曙1条8丁目 西地区市民委員会	国道	普通乗用(タクシー): 歩行者(横断中) 当事者 旭川市A(男性71) 旭川市B(男性84)	男性B (84歳)
<p>14日午後7時20分ころ、旭川市曙1の8の国道で、道路を横断していたBさん(84)がタクシーにはねられ、胸などを強く打って搬送先の病院で死亡が確認された。</p> <p>旭川中央署は、自動車運転処罰法違反(過失致傷)の疑いで、タクシーを運転していたA容疑者(71)を現行犯逮捕した。</p> <p>同署によると、現場は信号機、横断歩道のない片側2車線の直線。タクシーに乗客1人が乗っていたが、けがはなかった。</p>					
6	11月29日(木) 18:05ころ	東光2条5丁目 東光地区市民委員会	道道	普通乗用車: 歩行者(横断中) 当事者 旭川市A(男性78) 旭川市B(女性79)	女性B (79歳)
<p>29日午後6時5分ころ、旭川市東光2の5の道道で、道路を横断していたBさん(79)が乗用車にはねられ、全身を強く打って搬送先の病院で死亡が確認された。</p> <p>旭川東署は、自動車運転処罰法違反(過失致傷)の疑いで、乗用車を運転していたA容疑者(78)を現行犯逮捕した。</p> <p>同署によると、現場は信号機、横断歩道のない片側2車線の直線道路。</p>					
7	12月10日(月) 6:48ころ	神居町春志内 台場地区市民委員会	国道	軽四乗用: 大型クレーン車(正面衝突) 当事者 旭川市A(男性70) 深川市B(男性36)	男性A (70歳)
<p>10日午前6時48分ころ、旭川市神居町春志内の国道で、Aさん(70)運転の軽四乗用車とBさん(36)運転の大型クレーン車が正面衝突した。</p> <p>Aさんは胸などを強く打ち、搬送先の病院で死亡した。Bさんにけがはなかった。</p> <p>旭川中央署によると、現場は片側1車線の直線で事故当時は吹雪だったという。</p>					

## H30年旭川市内

**交通事故死者7人，うち高齢者が5人(約70%)**



### 【高齢歩行者被害事故の特徴】

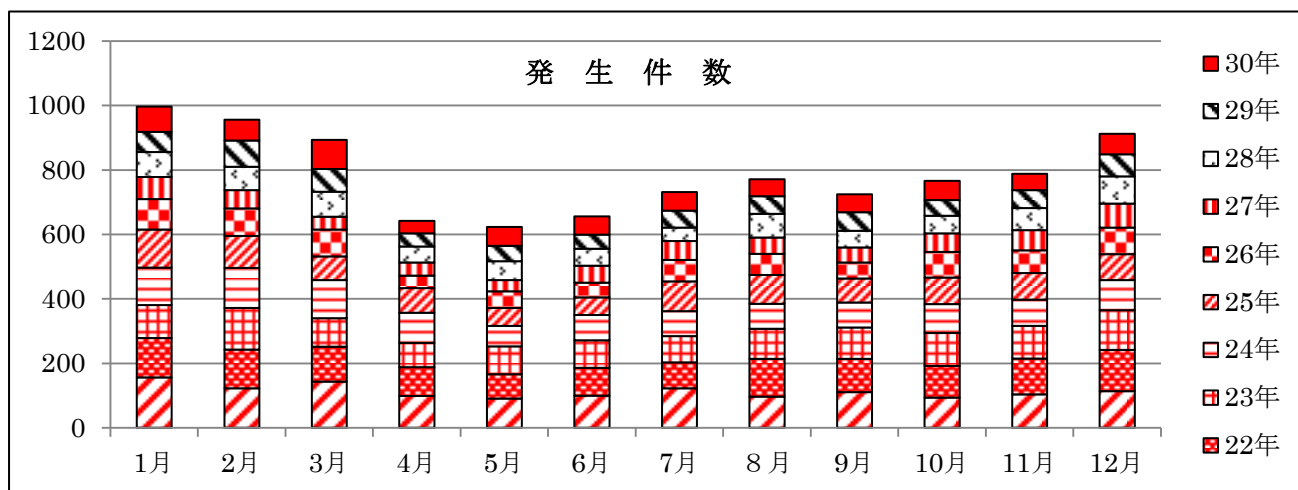
- ★ 夕方から夜間(16時~22時)の発生が多い
- ★ 市街地の交差点・交差点付近での発生が多い
- ★ 75歳以上の方が被害に遭うケースが多い
- ★ 歩き馴れている自宅周辺での被害が多い
- ★ 横断の後半に左から来る車にはねられるケースが多い

### Ⅲ 過去10年間の状況

#### 1 月別交通事故発生状況

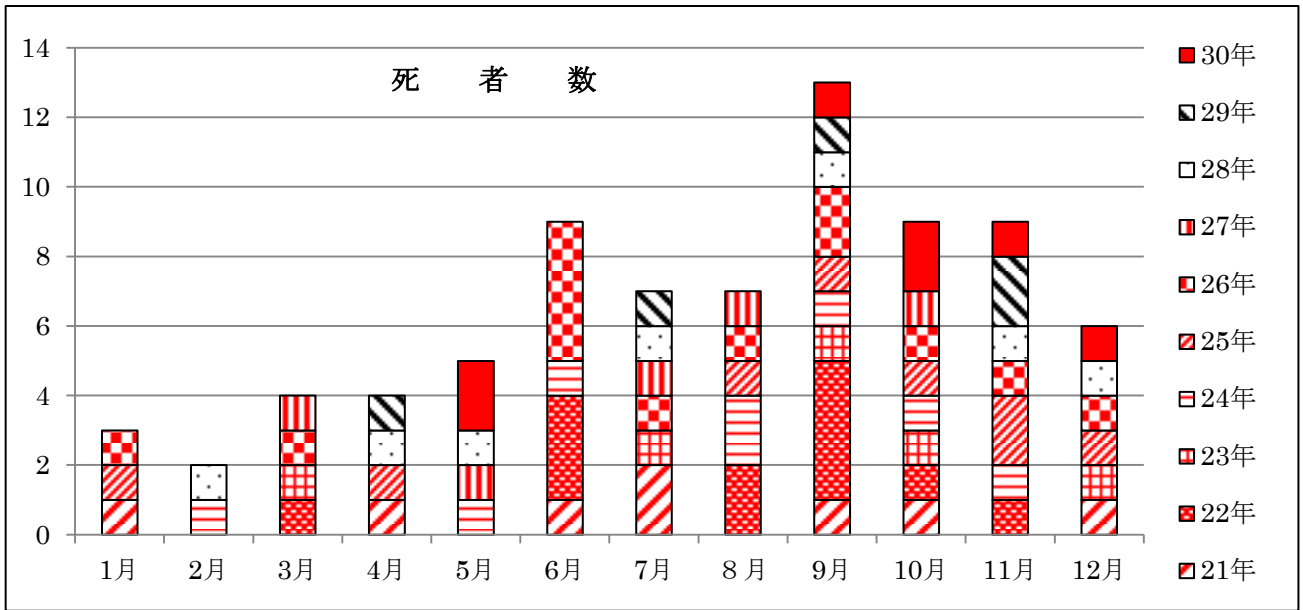
##### (1) 発生件数

	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
1月	156	122	103	116	118	94	69	77	63	78
2月	122	121	129	124	99	85	57	73	81	64
3月	143	108	89	118	73	84	40	77	71	90
4月	99	89	75	94	76	39	41	49	41	39
5月	91	75	86	64	56	51	35	59	47	59
6月	100	86	85	79	54	46	53	52	44	57
7月	122	81	81	78	92	67	58	42	52	58
8月	97	117	93	78	89	65	51	74	54	53
9月	110	104	97	77	75	50	46	52	58	55
10月	94	98	102	90	82	79	58	55	48	60
11月	103	112	101	81	83	70	63	68	56	51
12月	113	129	123	93	80	83	74	85	68	64
計	1,350	1,242	1,164	1,092	977	813	645	763	683	728



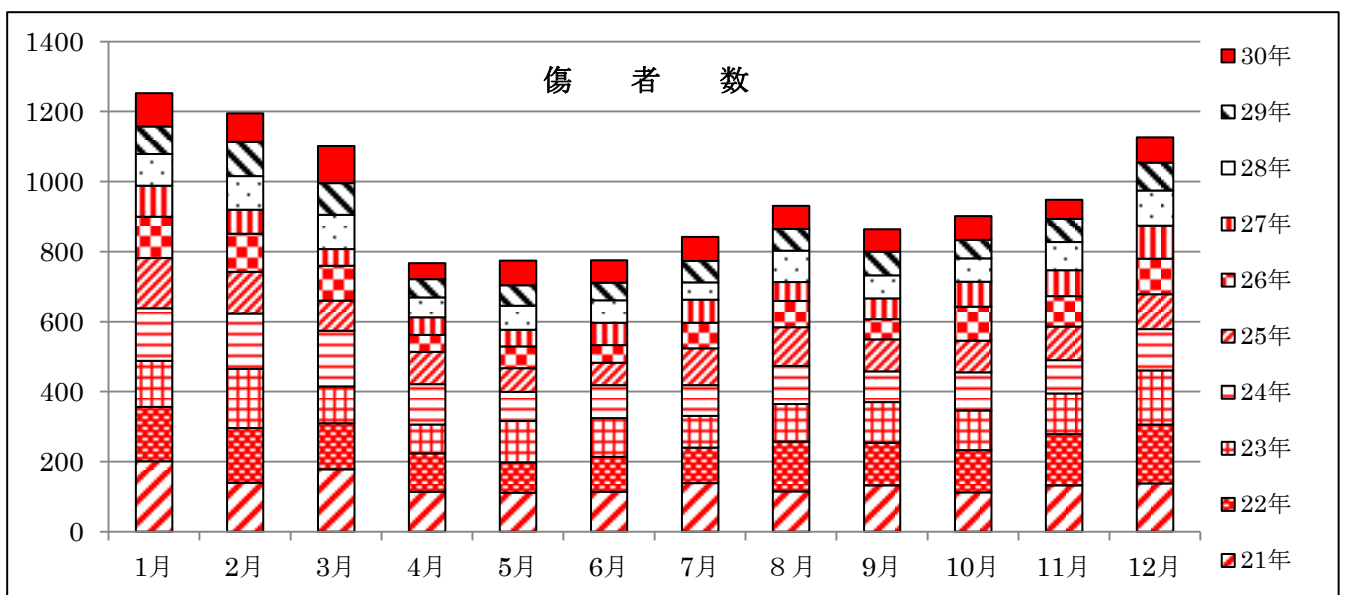
##### (2) 死者数

	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
1月	1				1	1				
2月				1				1		
3月		1	1			1	1			
4月	1				1			1	1	
5月				1			1	1		2
6月	1	3		1		4				
7月	2		1			1	1	1	1	
8月		2		2	1	1	1			
9月	1	4	1	1	1	2		1	1	1
10月	1	1	1	1	1	1	1			2
11月		1		1	2	1		1	2	1
12月	1		1		1	1		1		1
計	8	12	5	8	8	13	5	7	5	7



(3) 傷者数

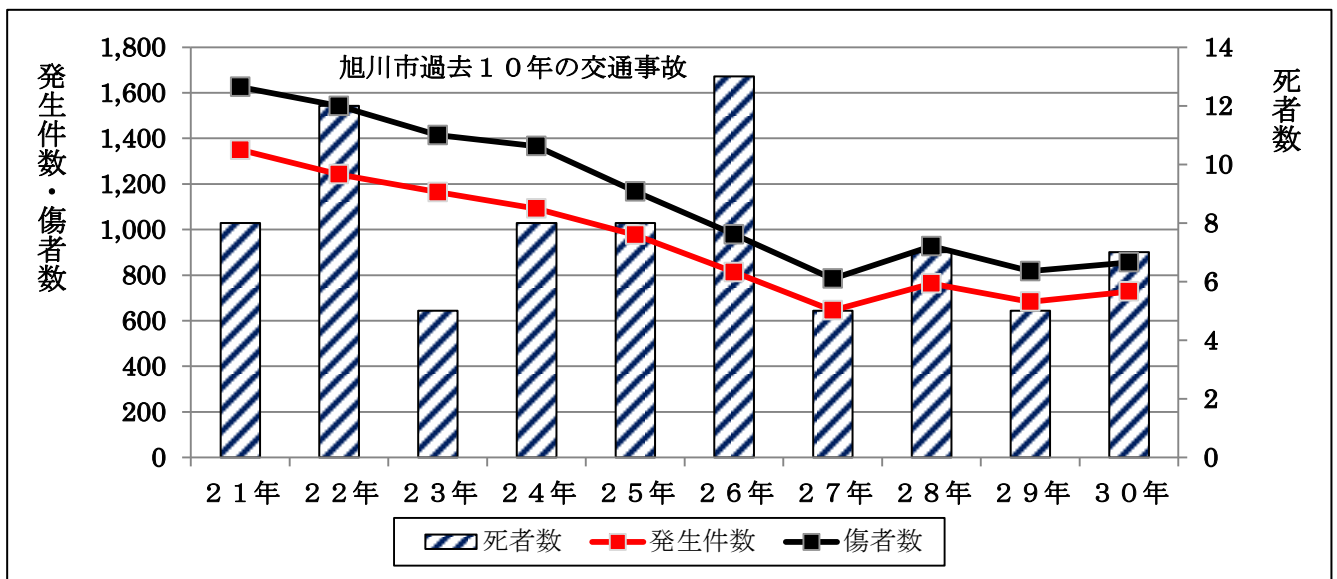
	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
1月	201	155	132	150	144	118	88	91	78	96
2月	140	156	169	158	119	109	69	96	98	81
3月	178	132	105	159	86	100	47	98	91	106
4月	114	110	82	115	93	48	50	57	52	46
5月	111	87	118	83	68	62	48	68	59	70
6月	114	100	110	95	64	50	64	64	50	64
7月	139	101	91	88	105	73	66	49	61	69
8月	115	143	107	108	111	75	54	90	62	66
9月	132	122	116	88	91	58	59	66	68	64
10月	112	121	113	109	91	97	71	67	53	67
11月	132	147	116	95	96	87	74	80	66	55
12月	138	168	155	118	99	102	94	101	79	72
計	1,626	1,542	1,414	1,366	1,167	979	784	927	817	856



## 2 旭川市・全道・全国の交通事故発生状況

	発生件数			死者数			傷者数		
	旭川市	全道	全国	旭川市	全道	全国	旭川市	全道	全国
21年	1,350	19,503	737,628	8	218	4,968	1,626	23,855	911,215
22年	1,242	18,088	725,903	12	215	4,922	1,542	22,096	896,294
23年	1,164	16,395	692,056	5	190	4,663	1,414	19,705	854,610
24年	1,092	14,973	665,138	8	200	4,411	1,366	18,048	825,396
25年	977	13,722	629,021	8	184	4,373	1,167	16,247	781,494
26年	813	12,274	573,842	13	169	4,113	979	14,571	711,374
27年	645	11,123	536,899	5	177	4,117	784	13,117	666,023
28年	763	11,329	499,232	7	158	3,904	927	13,489	617,931
29年	683	10,815	472,165	5	148	3,694	817	12,673	580,847
30年	728	9931	430,345	7	141	3,532	856	11494	524,695

注～全国の数値は速報値であり、変更になる場合があります。



## 3 都道府県別交通事故死者数のワースト順位

(▼減少)

順位	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
1	愛知 281 ▼37	愛知 256 ▼25	愛知 276 20	愛知 235 ▼41	愛知 219 ▼16	愛知 204 ▼15	愛知 213 9	愛知 212 ▼1	愛知 200 ▼12	愛知 189 ▼11
2	北海道 218 ▼10	北海道 215 ▼3	東京 215 20	千葉 202 ▼1	千葉 201 ▼1	神奈川 185 17	大阪 196 53	千葉 185 5	埼玉 177 26	千葉 186 32
3	千葉 208 ▼17	東京 215 10	埼玉 207 9	北海道 200 10	兵庫 187 8	千葉 182 ▼19	千葉 180 ▼2	大阪 161 ▼35	東京 164 5	埼玉 175 ▼2
4	埼玉 207 ▼25	千葉 210 2	千葉 203 ▼7	埼玉 200 ▼7	静岡 184 29	兵庫 182 ▼5	神奈川 178 ▼7	東京 159 ▼2	兵庫 161 9	神奈川 162 13
5	東京 205 ▼13	茨城 205 6	兵庫 198 6	東京 183 ▼32	北海道 184 ▼16	埼玉 173 ▼7	北海道 177 8	北海道 158 ▼19	千葉 154 ▼31	兵庫 152 ▼9

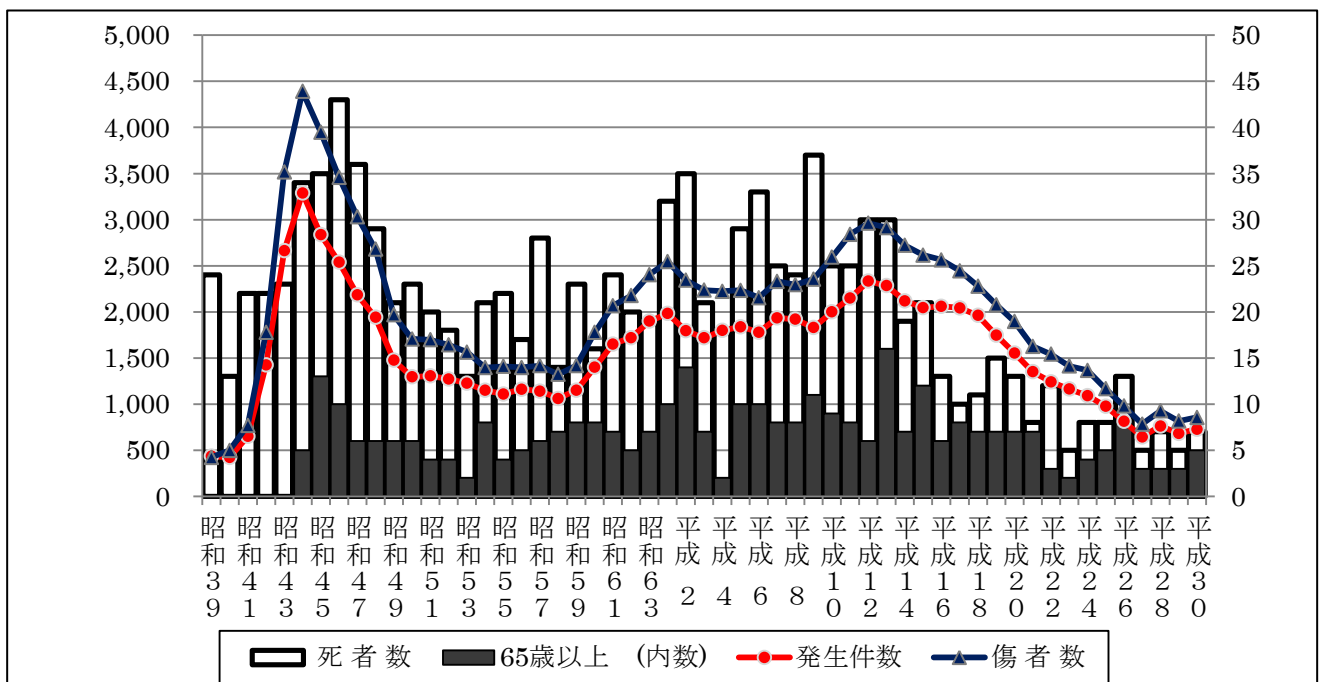
北海道190人で7位 ← 169人で7位 ← 148人で8位 ← 141人で8位 ↓



#### IV 旭川市の交通事故発生件数・死者数・傷者数一覧

年	発生件数	死者数		傷者数	年	発生件数	死者数		傷者数
		65歳以上 (内数)					65歳以上 (内数)		
昭和40	422	13		499	平成4	1,798	18	2	2,224
昭和41	649	22		770	平成5	1,839	29	10	2,234
昭和42	1,425	22		1,778	平成6	1,779	33	10	2,154
昭和43	2,663	23		3,518	平成7	1,936	25	8	2,332
昭和44	3,289	34	5	4,391	平成8	1,920	24	8	2,294
昭和45	2,837	35	13	3,949	平成9	1,829	37	11	2,356
昭和46	2,539	43	10	3,459	平成10	2,000	25	9	2,593
昭和47	2,186	36	6	3,033	平成11	2,150	25	8	2,841
昭和48	1,940	29	6	2,680	平成12	2,333	30	6	2,961
昭和49	1,476	21	6	1,969	平成13	2,284	30	16	2,915
昭和50	1,296	23	6	1,707	平成14	2,123	19	7	2,726
昭和51	1,306	20	4	1,698	平成15	2,041	21	12	2,616
昭和52	1,272	18	4	1,643	平成16	2,060	13	6	2,564
昭和53	1,225	13	2	1,565	平成17	2,043	10	8	2,445
昭和54	1,150	21	8	1,396	平成18	1,962	11	7	2,279
昭和55	1,109	22	4	1,409	平成19	1,749	15	7	2,078
昭和56	1,161	17	5	1,398	平成20	1,554	13	7	1,895
昭和57	1,140	28	6	1,416	平成21	1,350	8	7	1,626
昭和58	1,061	14	7	1,323	平成22	1,242	12	3	1,542
昭和59	1,151	23	8	1,419	平成23	1,164	5	2	1,414
昭和60	1,400	16	8	1,777	平成24	1,092	8	4	1,366
昭和61	1,651	24	7	2,067	平成25	977	8	5	1,167
昭和62	1,720	20	5	2,176	平成26	813	13	8	979
昭和63	1,900	19	7	2,404	平成27	645	5	3	784
平成元年	1,983	32	10	2,545	平成28	763	7	3	927
平成2	1,795	35	14	2,344	平成29	683	5	3	817
平成3	1,719	21	7	2,235	平成30	728	7	5	856

※平成14年からは高速道路での事故発生件数も含む



## V 交通死亡事故ゼロ達成日数 (平成30年12月31日現在)

市民委員会名	達成日数	備考	市民委員会名	達成日数	備考
西	78	10/14	旭神	542	
中央	1,401		東光	32	11/29
大成	2,235		東光南	1,962	
近文東	2,627		豊岡	1,241	
近文西	4,129	4千日	新豊岡	4,155	4千日
川端	7,872		愛宕	95	9/27
北星	3,111	3千日	東豊中央	468	
旭星	1,485		東部東光	2,382	
旭星西	9,863		千代田	4,553	
春光西	4,037	4千日	旭正	1,568	
春光中央	5,349	5千日	東旭川中央	2,649	
春光東	1,915		日の出・倉沼	630	
春光台	7,982		豊田	7,114	7千日
鷹の巣福祉村	1,744		桜岡	5,156	5千日
末広中央	1,659		米飯・瑞穂	15,283	1万5千日
末広	1,657		神楽本町	1,494	
末広東	2,871		神楽宮前	6,873	
東鷹栖中央	971		高野	6,042	6千日
東鷹栖東	403		神楽岡	1,044	
東鷹栖西	14,344	1万4千日	神楽岡東	5,436	
東鷹栖北	18,257	1万8千日	緑が丘	7,058	7千日
江丹別	4,652		西御料地	215	5/30
嵐山	2,181		緑が丘東	3,901	
神居中央	988		西神楽瑞穂	5,877	
神居東	3,048	3千日	西神楽中央	420	
台場	21	12/10	西神楽聖和	780	
神居雨紛	6,342	6千日	千代ヶ岡	2,983	
西神居	3,638		永山第一	2,279	
忠和	235	5/10	永山第二	1,593	
新旭川	88	10/4	永山第三	4,057	4千日
朝日	5,497		永山南	5,333	5千日
啓明	1,336		永山南西	1,852	

※備考欄の記述

- ・「〇千日」は、平成30年中に達成した3千日以上記録。
- ・「日付(△/□)」は死亡事故があった日。

旭川市の事故ゼロ日達成

最長記録 **167日**

平成29年11月24日～

平成30年5月9日まで



身につける 夜道のお守り 反射材

## 一口メモ

用語	説明
交通事故	<p>道路交通法に規定する「道路」で発生した「車両等」（自動車、原動機付自転車、自転車等の軽車両、トロリーバス、路面電車）の交通による死傷、物の損壊事故をいいます。</p> <p>しかし、この統計書では、物の損壊事故のみで死傷事故とならなかった事故については含まれていません。通常私たちが目にする交通事故統計は、この統計書のように、交通による死傷事故のみを扱っているものがほとんどです。</p>
死傷者	<p>「死傷者」とは、道路交通法で規定される道路上で、車両等および列車の交通によって発生した事故で死傷した人をいいます。普通は「死者」「重傷者」「軽傷者」に区別されます。</p> <p>この統計書では、例外的に表示する以外は「死者」と、重傷者と軽傷者を合わせた「傷者」で表示しています。</p> <p>「死者」とは、交通事故が発生してから24時間以内に亡くなった人のみをいいます。「30日以内の死者」を計上している統計書もありますが、この統計書では24時間以内に亡くなった人のみを表しています。</p>
第一当事者	<p>交通事故に関わった全ての当事者の過失を調べ、基本的には、それらの過失が重い順に当事者順位が定められます。</p> <p>第一当事者は、犯した過失が他の当事者よりも相対的に重いと判断された当事者です。当事者の過失が同程度と判断された時は、人身損傷の軽い順に当事者の順位が定められ、人身損傷が最も軽い当事者が第一当事者となります。</p> <p>車両の単独事故では、常にドライバーが第一当事者になります。また、歩行者に明らかで重大な過失がある場合には、歩行者が第一当事者となります。</p>
軽車両 (自転車も車の仲間です)	<p>交通事故統計では、車両等(列車を含む)の運転者が当事者であるときは、運転中の「車両等」の種類をもって当事者とします。その種別は、「乗用車」「貨物車」「二輪車」「歩行者」などの11に区分されています。その1つが「軽車両」です。</p> <p>この「軽車両」も、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①自転車</li> <li>②駆動補助機付自転車</li> <li>③その他軽車両～リヤカー、荷車、牛車・馬車、馬・牛、犬ぞりなどの3種に区分されています。</li> </ul>

## 【平成31年期別運動】

年間スローガン

ストップ・ザ・交通事故 ～ めざせ 安全で安心な北海道

運動名	実施期間	期別運動の視点	セーフティコール
春の全国交通安全運動	5/11(土)～5/20(月)	○外出の機会が増える子供や活動期に入る自転車利用者の事故防止	5/10(金)
夏の交通安全運動	7/11(木)～7/20(土)	○観光やレジャー等に伴う事故防止や二輪車の事故防止と飲酒運転の根絶	7/11(木)
秋の全国交通安全運動	9/21(土)～9/30(月)	○夕暮れ時と夜間の高齢歩行者・自転車の事故防止	9/20(金)
冬の交通安全運動	11/11(月)～11/20(水)	○凍結路面でのスリップ事故防止	11/11(月)



平成30年の交通事故統計

## 交通安全は家庭から

平成31年3月発行

旭川市交通安全運動推進委員会

会長 西川将人

☎070-8525

旭川市6条通10丁目旭川市 第三庁舎1階

旭川市 防災安全部 交通防犯課内

☎(0166)25-6215